地域とともにある学校の役割について

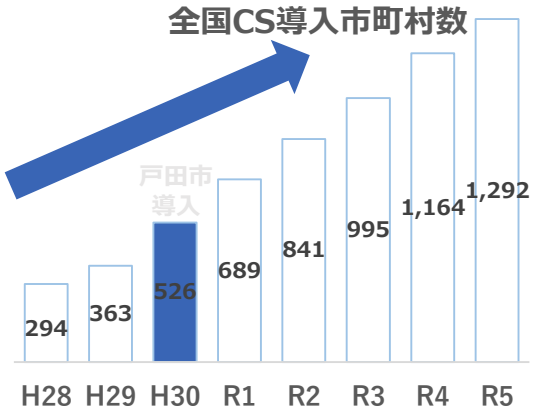
（コミュニティ・スクール）

学務課

学校運営協議会の設置、熟議テーマの変遷

○ **設置から7年経過し、熟議の内容について、**一般的なものから、**各学校の課題等の実情に応じて様々なテーマが取り扱われるようになった**

○ **H30年度、戸田市の全ての小中学校*が「コミュニティ・スクール」に ▶ R6年度で7年目**



■ **自治体の中では比較的早い段階で設置**
■ **モデル校から導入ではなく、一斉に導入**

◀文科省及び総務省のホームページ掲載データをもとに作成

○熟議では以下のようなテーマが取り扱われており、次第に変わってきている。

- 導入当初は**学校と地域の関係構築**（学校の基本方針や教育目標の共有）等が中心
  - 「夢あふれ絆深める○○小、子供も大人も元気な学校」を目指すには
  - ○○小の子供にはどんな力が必要か？
- 最近では**教育課題の具体的解決**等のテーマが増加
  - 「子どもの安全を守るために地域でできること」
  - 「３分類から考える働き方改革の推進」
  - 「新しい学び・授業観」
  - 「『AI時代に必要な資質・能力』を育成するために」
  - 「学校経営方針を軸とした保護者・地域との信頼関係の構築」　など



R5年3月に戸田市内で発生した不審者の侵入事件を受け、全ての学校運営協議会で議題とした（校長会として決定）

R5年8月の中教審の緊急提言を受け、積極的に議題化するよう各学校運営協議会に依頼

各学校運営協議会で「学校・教師が担う業務に係る3分類」に係る熟議の実施

- ある学校での熟議の際に、委員からシェアされた感想。

そもそも**先生方にこんな苦労があるとは**知らなかった。保護者としては先生の仕事が見えない。PTAの立場で関わっていても、まだまだ分からない。**タスクが見えるようになると、CSや保護者としても支援できるかも**しれない。　（保護者委員）

「働き方改革は誰のため？」というのは絶対子供達のためだと思う。**働き方改革を進めることで、心身ともに健康で子供に向き合える**ということが大事。（地域代表委員）

働き方改革を語る際に、先生の負担軽減のみに焦点が当てられ、誤ったメッセージとして保護者や地域の方には伝わっている可能性がある。**子供達のためといったメッセージが保護者や地域の方に伝わっていないのでは**ないか。

働き方改革を進めることで、教材研究の時間や子供たちに向き合う時間が確保され、学びの質の向上等に繋がるなど**間接的に「子供たちのため」になっていることを伝えていくべき。そうすると協力しようという保護者も増えてくる**のではないか。　（地域コーディネーター）

熟議には管理職や可能であれば管理職以外の教員も関わる→何に困っているのかリアルな様子が委員にダイレクトに伝わる





イコールパートナーとして本音トークができるのが素晴らしい。具体のアクションには中々つながらないかもしれないが、先生の専門性は授業や生徒指導をすること。逆に言うと、それ以外の部分を支えてもらうことや、そういう実態を知ってもらえるだけでもありがたい。話題に出せることが先生方のモチベーションアップにもなる。

▲福田CSディレクターが説明する様子　▲学校運営協議会で熟議を実施する様子

研修の実施（市教委の伴走支援）

毎年委員や管理職の異動があるため、市教委主催の研修を継続的に実施

■ **導入前、導入当初**は**積極的に市教委主催の研修を実施**
- **市教委主催の研修回数**は**徐々に減少**傾向
- 他方、令和5年度以降に実施の研修は**オンデマンド配信を実施**

場所だけでなく、時間も選ばない＆見返せるため、研修内容をより多くの方に届けられるように

■ その他、国や県等の主催のセミナーについても随時案内を実施

年度	年月日	研修名【対象】
H29	H29.9.28	コミュニティ・スクール研修会【各校地域連携推進担当者等】
H29	H29.10.3	コミュニティ・スクール導入全体研修会【各校学校運営協議会準備委員】
H30	H30.7.19	コミュニティ・スクール研修会【各校管理職等、委員】
H30	H30.9.28	戸田市コミュニティ･スクール研修会【各校管理職等、委員】
H30	H30.10.30	戸田市コミュニティ・スクール全体研修会【各校管理職等、委員】
H30	H31.1.11	地域連携推進担当教職員研修会【各校地域連携推進担当者等】
R1	R1.7.5	新任管理職等戸田市CS研修会【管理職等】
R1	R1.10.29	コミュニティ・スクール全体研修会【各校管理職等、委員】

年度	年月日	研修名【対象】
R2	R2.5.20	オンライン校長研修会【各校校長】
R2	R2.10.28	コミュニティ・スクール全体研修会【各校管理職等、委員】
R3	R3.11.16	学校運営協議会に係る新任委員・管理職等を対象とした研修会【新任管理職、委員等】
R4	R4.6.21	学校運営協議会に係る新任委員・管理職等を対象とした研修会【新任管理職、委員等】
R4	R5.1.11	学校運営協議会・学校応援団合同研修会の開催【各校管理職等、委員、コーディネーター】
R5	R5.11.9	コミュニティ・スクール全体研修会「戸田市ＣＳ・５年、第２フェーズへ～中央教育審議会の緊急提言を受けて～」【各校管理職等、委員等】
R6	R6.7.5	学校運営協議会に係る新任委員・管理職等を対象とした研修会【新任管理職、委員等】



地域との協働を通じた教育環境の充実（学校の役割①）

地域のリソースが学校に集約する強みを最大限活用して教育環境を充実させる

現状

- 学校運営協議会で学校と学校運営協議会委員（地域住民等）が熟議を重ね、不登校やいじめといった課題に取り組む体制が整いつつある
- 学校応援団などのボランティアが、学習支援や学校運営に積極的に関わり、教育活動を支えている



▲学校運営協議会で熟議を実施する様子

今後に向けて

- 学校運営協議会委員に、地域住民等だけでなく、産官学で連携している方に入っていただくなど、多様な人々が参画できるようにし、熟議の活性化や新たな連携の創出に繋げる
  - ➢ 連携企業の方や大学関係者が委員として着任
- 地域資源を活用した最先端の学びの機会を創出し、子供たちが社会との繋がりを実感できる場を増やす
- 中学校区での合同学校運営協議会を実施するなど、小中９年間で子供たちの育成に繋げる



▲1年生生活支援の様子

地域課題を題材にした実践的な学びの提供による地域支援と教育の質向上（学校の役割②）

地域課題をテーマにした探求学習を推進し、子供の学びと地域支援をリンクさせることで、学校から地域への支援に繋げるとともに、子供たちの自己効力感（自分たちでこの街を変えられる）等の非認知能力の育成に繋げる

現状

- 市では「戸田型 PBL」として、実生活・実社会のリアルな課題を探究的に解決する学びを全ての小・中学校で実施している

今後に向けて

- 探求的な学びにおいて、地域課題をテーマに取り上げ、課題解決のアイデアを考える機会をカリキュラムに意図的に位置付けていく
- 子供たちが知りたいことをヒアリングする場、アイデアを発表する場、アイデアを実現する場等を提供できるように学校運営協議会を起点として地域とコミュニケーションを図る。これにより、地域課題解決に向けて子供たちの提案の精度を更に高め、具体的な成果をもたらす仕組みの構築に繋げる。



▲広報戸田市 2025年1月号の抜粋
https://www.city.toda.saitama.jp/koho-toda/250101/pdf/04-05.pdf

地域と学校の双方向の協働による共生の実現（学校の役割③）

地域と学校が対等なパートナーとして協働できる仕組みである、学校運営協議会の場を双方の課題解決のプラットフォーム等としての機能をフル活用する

現状

- 地域ボランティアによる学校支援が充実している一方で、学校と地域が協働する取組も見られる
  - 学校運営協議会、市役所（危機管理防災課）等と連携して小中学校合同で防災訓練を実施
  - 地域イベントへの協力　など



▲小中合同での防災訓練の様子

今後に向けて

- 活動形態の幅を拡張するなど学校と地域の協働関係をさらに深化させ、学校が地域の拠点となる「スクール・コミュニティ」のモデルを確立する
- Win-Winの関係構築に繋げることで、地域住民全体が学校運営に主体的に参画し、学校が地域活性化の中核としての役割を担う持続可能な仕組みを確立する

戸田市コミュニティ・スクール、7年目の現在地と展望



イコールパートナー

学校と地域が対等に対話できる関係構築ができてきた

～話しづらいことも本音で話せる～

- **地域と学校の連携は強化されつつあるものの、取り上げる課題や実践の幅はもっと出せるのではないか**
- **今後は地域との協働を更に進化させ、学校が地域社会の発展を先導し、共生する関係を築くことが重要**

学校を核とした地域づくり（スクール・コミュニティ）へ

令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を、戸田南小学校学校運営協議会及び南っ子サポーターが受賞

- **令和6年12月25 日(水)、文部科学省より「令和6年度『コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進』に係る文部科学大臣表彰」に関する報道発表がありました**
  https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01445.html （令和6年12月25日／文部科学省／令和6年度社会教育功労者表彰、第77回優良公民館表彰、令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰（小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、 私立幼稚園・認定こども園PTA）及び令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰の被表彰取組等についてお知らせします）

- **「戸田南小学校学校運営協議会及び南っ子サポーター」が推進してきた、「学校運営協議会をハブに家庭・地域が後押しをする学校における働き方改革の取組」が本表彰を受賞することになりました**

- **戸田南小学校は、目指す学校像に「家庭・地域と一体となって子供を育てる学校」を掲げ、「地域に開かれた学校」として地域との交流を重視することを宣言し、「学校の壁」を低くするとともに、できることは直ちに行うという考え方のもと、地域住民等が参加する学校運営協議会を核とした取組を進めてきたことを評価いただけたものと存じます**

- **授賞式は、令和７年２月28 日（金）に文部科学省 東館３階 第１講堂で行われ、関係者が出席する予定です**

戸田市CSディレクター 福田晴一様の辞任について

- 戸田市の全ての学校がコミュニティ・スクールとなった平成30年度以降から今年度までの７年弱と永きにわたり、各学校の学校運営協議会で惜しみなくご指導ご助言をいただいていた、戸田市CSディレクター 福田晴一様が令和6年11月30日付けで辞任されました

- 福田CSディレクターには、昨年度以降、学校における働き方改革の熟議の推進に顕著な成果を上げられ、戸田南小学校の取組は令和６年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰の受賞が決定するなど、本市の教育の振興と発展に多大な貢献をされました

- 辞任後は、令和6年12月6日の北区議会での同意を経て、東京都北区の教育長に就任されました（任期：令和6年12月7日～令和9年12月6日）
  ※北区ホームページ
  https://www.city.kita.tokyo.jp/k-seisaku/kosodate/inkai/kyoiku.html